



生物学よもやま話 —実験の基本原則から応用まで—

日本生物工学会 編 単行本, 350頁, 定価3800円+税, 学進出版

本書『生物学よもやま話』は日本生物工学会誌に2年間にわたって掲載された「生物学基礎講座—バイオよもやま話—」が編集されたものである。「よもやま話」の本来の意味はとりとめのない話、いわゆる無駄話である。「生物学基礎講座—バイオよもやま話—」は軽い気持ちで読むことができ、なるほどそういうことだったのかと納得することもあれば、今回は分野が違うなということも済ませることもあった。しかし、本書はもはや「よもやま話」ではない。目次と執筆者一覧を目にすると、まず、バイオ分野の重要技術が高度に体系化されていることに気づく。誰でも、自らの勉強のためにすぐに読んでみたい章がいくつかあるはずである。読み進めていくと、どの章も重要技術の歴史や基本原理が大変わかりやすい。商品開発という視点からの解説も豊富である。時には自分はこんなことも知らなかったのかと驚いたりもする。今日のバイオ実験は、キットの使用や実験の外注を避けて通れない。研究グループが迷走しないために、各実験者が重要技術の背景を理解することはこれまでも増して重要であろう。このことは本書の「はじめに」に明確に述べられているとおりである。本書のもうひとつの特徴は、執筆者が自らの経験に基づいて実験者の目線に立ち、時には苦勞話（よもやま話？）をすることである。いろいろと共感できる点があり楽しい。本書は企業や大学の研究室に飾っておくのではなく、実際に使われるべきである。

(京都大学 保川 清)

好評発売中！

生物学よもやま話

—実験の基本原則から応用まで—

生物工学会誌で、大好評だったシリーズ企画「**生物学基礎講座バイオよもやま話**」が書籍になりました！

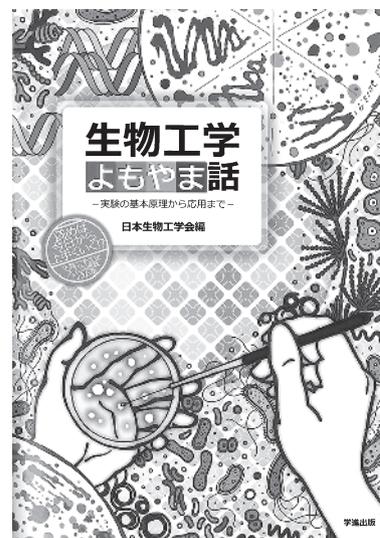
意外に知られていないバイオ実験の基本原則から、微生物の取扱いや社会で役立てられているバイオ技術に関する話題など、バイオ技術に携わるすべての方に役立つ情報を満載！

会員特別価格：2,940円（税・送料込み）

〈2014年3月末日申込み分まで〉

本学会会員は特別価格でご購入いただけます。

ご注文は、日本生物工学会ホームページよりお申込み下さい。
または、1号の会誌に同封しております注文書にご記入の上、
FAXにて事務局へお申込み下さい。



ISBN 978-4-907773-05-2

B5判, 350頁

定価：3,800円+税

発行：学進出版

カバー装丁：ウチダヒロコ